

新春対談 市長×市民記者

市民記者の福田さん、葛貫さんが、岡部市長に市政運営について聞きました。



新庁舎の完成と庁舎などの活用について

(葛貫) 新庁舎の完成おめでとうございます。新庁舎となつていかがですか？

(市長) 分庁舎・仮庁舎の業務で、皆様にご不便をかけていたわけですが、総合庁舎としてこのたび開庁いたしました。

防災拠点となる庁舎でございますが、何よりも市民の皆様のための庁舎ですので、ご用があるときはもちろん、お気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。ありがとうございます。

(葛貫) 田沼・葛生庁舎の利活用についてはどのようにお考えでしょうか？

(市長) 田沼行政センター・葛生行政センターの整備計画もございます。総合庁舎となったことで、田沼・葛生の皆様にはご不安もあるかと思いますが、引き続き総合窓口機能がございます。どうぞご安心ください。

(葛貫) 私の住む地域では学校の統廃合もあり、不安を抱えています。

(市長) 少子化の時代を迎えたことで、田沼西中学校区では小中一貫校の方向で地域の皆様とお話しております。これからも地域の皆様のご意見をうかがって、取り組んでまいります。

企業誘致・中心市街地活性化・観光振興

(福田) 少子化が進行している時代の中で、そこで働くための雇用が大切だと思いますが、いかがでしょうか？

(市長) 本市では佐野田沼インナー産業団地全12区画が間もなく完売するところでございます。隣接する工業団地でも西日本から和菓子メーカーが進出するなど「好調」とお聞きしております。おっしゃる通り、若い人の働く場、「安定した雇用」を確保することが、人口減少社会を食い止める有効な手立てだと考えております。本市では西浦・黒袴町の佐野インナー産業団地(第2期)の造成に入っているほか、インランドポート構想がございます。引き続き雇用の確保に取り組んでまいります。



市民記者
福田満さん
(田沼町)

(福田) 中心市街地の活性化についてはどうにお考えでしょうか？

(市長) はい。新庁舎が完成したことで中心市街地に「核」ができたわけです。新庁舎の完成はゴールではなく、新たなスタートです。市道や県道の拡幅など環境整備に取り組んでまいります。

また、昨年、佐野商工会議所などが中心となって「さのまちづくり株式会社」が設立されました。官民一体となって、中心市街地の活性化を進めてまいります。

(福田) 市長は就任以来、「観光立市」に取り組んでいらつしやいますが「自然環境を活かした観光振興」という点ではどのようにお考えですか？

(市長) 2つの高速道路が交わり、

3つのインターチェンジを持つ本市の立地条件を活かすために、本市は「観光立市」、そして「スポーツ立市」を掲げ、交流人口の増加に取り組んでいるところでございます。

本市は「さのラーメン」や「いもフライ」といった特徴的なグルメを有するほか、市南部の商業エリアから北部の自然豊かなエリアを有しているわけでありまして、北部地域には「そば」を食べに多くの方にお越しいただいています。

佐野市へお越しいただけるように、引き続き、佐野ブランドキャラクター「さのまる」を中心に、本市のシティープロモーションに努め、本市の認知度向上を図り、「観光立市」「スポーツ立市」によるまちづくりを進めてまいります。



市民記者
葛貫郁子さん
(御神楽町)

(福田) 多くの人にお越しいただいている中、インターチェンジ周辺などに、多くのごみを見かけます。細かな環境整備も必要ですね。

(市長) 市内では多くのボランティア団体がごみ拾いを行い、環境美化に努めていただいているところでございます。大変感謝しております。

先月には、唐沢山で「むかで退治」と題した、ごみ拾いが行われまして、地元町会や企業、また佐野日大高校の生徒さんなど500名の方が参加し、2・6トンものごみを集めていただきました。

(葛貫) 綺麗な環境を維持するところが、人を気持ちよくさせますし、ゴミを捨てさせないことにつながりますね。

(市長) 市としましても、引き続き環境美化に努めてまいります。

これからの社会について

(葛貫) 少子高齢化の時代を迎える中、女性の社会進出についても重要になってくると思いますがいかがでしょうか。

(市長) 本市ではこのほど策定した「佐野市まち・ひと・しごと総合戦略」において、「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標の一つとしております。こどもクラブの整備など引き続き、子育てしやすい環境整備に取り組んでまいります。

(葛貫) 女性が働きやすい社会にしていきたいです。

(市長) 本市は女性の社会進出について積極的に取り組んでおり、昨年には男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」創設したところですが、引き続き企業などにも働きかけを行ってまいります。

(福田) 人口が減少していく社会情勢の中、佐野市ではどのような取り組みを行いますか。

(市長) 本市では総合戦略において「安定したしごとをつくる」「新しい人の流れをつくる」「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」「時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守る」の4つを基本目標としました。

先ほどお話しした、産業団地の

造成などの「雇用の確保」、「交流人口の増加」など、さまざまな施策に取り組むことで、人口減少社会に対抗してまいります。

(葛貫) 外から人を流入されるだけでなく、地元の意見を大切にしたいです。

岡部市長は、定期的に市政懇談会を開かれるなど、広く意見を聞かれ、市政を行っていらっしゃると思っております。引き続きよろしく願います。

(市長) 市政運営には市民の皆様のご意見・ご協力が不可欠です。市では地域の皆様のご意見に、より一層耳を傾けるため、昨年「地域担当職員制度」を発足させ、各町会に担当職員を配置したところでございます。

これからも市と市民が一体となった市政を行ってまいります。引き続きよろしく願います。

(市民記者) 本日は、いろいろなお話をありがとうございました。本年もどうぞよろしく願っています。

(市長) ありがとうございます。

